

仕様書案 P20 4.6.2 (1) 統合サーバ

質問：統合サーバ上で「Oracle Database Standard Edition2 が利用できる」と記載がありますが、SQL Server で利用することは可能か。

Oracle Database Standard Edition2 については、三重県ですでにライセンス (CAL) 取得していますので受託者がライセンスを別途用意する必要はありません。

SQL Server については統合サーバ上で利用可能です。あわせてライセンスの取得をお願いします。

仕様書案 P20 4.6.3 (2) 導入するハードウェアの条件

質問：「すべて買い取りで提供」と記載がありますが、RFI 用見積作成に向けリースで積算する範囲と、買取で積算する範囲を示していただけませんか。

共通機能基盤とは別にハードウェアが必要な場合「すべて買い取りで」となっていますが、本 RFI により提供を受けた見積書のうち買い取り費用とリース費用と比較し、総合的な判断により、「リースで」となる可能性があります。かつ、リースの場合は支払方法も含め修正を行う必要がありますので、ひとまず提示できる表現として「すべて買い取り」としています。

積算範囲については、物件のうちリースできないものは買い取りになるなど、事業者により異なるものと考えています。リース物件の見積上、買取物件が混在する場合は、どの物件が買取なのかお示しください。

仕様書案 P21 4.6.4 (1) 権利

質問：「本業務において調達するソフトウェア」について、具体的な対象を示していただけませんか。

特記仕様を実現するためのパッケージオプションであり、かつパッケージ外の別ソフトウェアを必要とする場合、当該ソフトウェアをご用意ください。

例えば、(パッケージにおいて実装済だとは思いますがオプションの可能性も否定できないため、) 電子ファイル化のためのレイアウト管理ソフト、ファイル生成ソフトです。

仕様書案 データ移行

質問：データ移行はどの範囲を想定しているか。対象データ・範囲等を教えてください。

概ね以下のデータが最低限必要となります。

- 会計処理管理、予算編成支援
 - 決算終了から過去 5 か年度分 (一部 10 か年度分)
 - 移行時点の会計・予算データ
- 貯蔵品管理
 - 移行時点の現有データ
- 企業債管理
 - 移行時点の償還中データ
- 固定資産管理
 - 償却未済額が残っている資産データ

このうち、企業債及び固定資産に関しては償還済、減価償却済であっても本システムで必要となる場合は、既存システムからの情報の移行を本システム受託者と協議のうえお願いすることとなります。

仕様書案 データ移行

質問：移行データについては三重県企業庁様からご提供いただけるという認識で、データ授受の費用については御見積に含めない想定でよいか。

データ授受に入る準備段階の費用 (移行計画作成) は必要です。概ね、以下のフローに沿って移行

作業を行い、本システム受託者側で必要となる費用は後段部分（「それ以降の」から）です。既存システムからの移行データの抽出作業は県若しくは既存システム保守事業者が実施します。当該データは、県から本システム受託者に対し引渡しますので、それ以降の、システム投入のためのデータレイアウト変換、移行テスト、移行作業は、県と協議のうえ本システム受託者が実施してください。

仕様書案 P15 4.4.1 (1) システム方式

質問：「主に WEB アプリケーション方式を用いてサービスを提供すること」と記載がありますが、VB.NET による提案は可能か。

VB.NET (Visual Basic .NET) による提案は可能です。

仕様書案 P26 4.4.3 (1) 通常運用・監視情報

質問：「状態監視（トレース情報を含む）を行い、エラーが発生した場合は検知し監督員へ通知ができること」と記載がありますが、共通基盤のみを利用しハードウェアの供給等を行っていない場合は、共通基盤上から状態監視ができるため、別途対策を講じる必要ないという解釈でよいか。

ハードウェアを別途必要としない構成の場合、別途対策を講じる必要はない。

仕様書案 P34 5.3.3 (12) バックアップ管理

質問：「バックアップ計画に基づき、バックアップ媒体の外部補完を行うこと」と記載がありますが、共通基盤のみを利用しハードウェアの供給等を行っていない場合は、共通基盤上でバックアップができるため、別途対策を講じる必要ないという解釈でよいか。

ハードウェアを別途必要としない構成の場合、別途対策を講じる必要はない。

仕様書案 セグメント管理

質問：セグメント管理について

別添「セグメント管理」をご確認ください。既存システムにおけるフローをお示しします。

セグメント管理

三重県企業庁財務会計システムにおけるセグメント管理とは、事業別かつ水系別にアロケーションテーブルを利用し、その比率により当該事業・水系の処理対象額を自動算出・自動調整するものです。

既存システムのフローを「会計処理管理」で例示

- 支出額（総額）を入力する。
- アロケコードを選択する。

code:59 (全量 (本庁) R2~)

事業	水系	比率
水道事業	木曾川	10.660%
	三重用水	6.770%
	北勢長良	2.390%
	雲出川	10.808%
	中勢長良	7.806%
	南勢	18.566%
工水事業	北伊勢	34.545%
	中伊勢	0.667%
	松阪	1.788%
電気事業	R D F	6.000%

- ・ 事業内訳にアロケにおける事業水系の比率が関連づけられる。

- 各事業内訳に当該事業費名を選択、入力し、事業費を算出させる。

なお、上記例の場合、水道（総係費）、工水（総係費）、電気（一般管理費）と、3つの事業費で構成され、紙媒体で出力した際も3事業の表示となる。ただし、水系単位でさらに費用按分されたデータをシステム内で管理している。

- ・ 比率により当該事業費の必要額（消費税額を含む。以下同じ。）が自動算出される。
- ・ 算出された必要額の端数処理により1円不足が生じる場合は、1事業水系で自動調整処理される。
- ・ 算出された必要額は、その後、手作業で修正することができる。

- 入力（作業内容）を確定する。

【アロケーションテーブル（アロケ種類テーブル）一覧表の一部】

アロケ種類テーブル一覧表				03/01/12	09:45:25	6 頁
年度	アロケ種類		使用許可会計	水系コード		比率
令和 2年度	59	全量 (本庁) R2~	01 02 04 99	01 木曾川		10.660%
				02 三重用水		6.770%
				03 北勢長良		2.390%
				04 雲出川		10.808%
				05 中勢長良		7.806%
				06 南勢		18.566%
				10 北伊勢		34.545%
				13 中伊勢		0.667%
				14 松阪		1.788%
				19 R D F		6.000%
令和 2年度	60	原水人件費 (工水)	02 99	10 北伊勢		100.000%
令和 2年度	61	業務人件費 (工水)	02 99	10 北伊勢		88.889%
				13 中伊勢		3.020%
				14 松阪		8.091%
令和 2年度	62	使用不可 原水人件費 (工水 8:1)	02 99	10 北伊勢		87.962%
				11 多度		0.926%
				13 中伊勢		4.254%
				14 松阪		6.858%
令和 2年度	63	使用不可 業務人件費 (工水 27:4)	02 99	10 北伊勢		86.188%
				11 多度		0.908%
				13 中伊勢		4.940%
				14 松阪		7.964%
令和 2年度	66	H22テスト用	99	01 木曾川		10.303%